



# ひろしま薬剤耐性情報



— 正しく使おう抗菌薬 —

## 薬剤耐性を知ろう

(Antimicrobial Resistance:AMR)

細菌に対して抗菌薬が効果を示さなくなるまたは効果が減弱することを「薬剤耐性 (AMR)」と呼びます。2014年に、全世界中のAMRによる死亡者数は2013年の70万人から、このまま何も対策をしないと2050年には**1000万人**に上がり、がんによる死亡者数を上回ると報告されました。

70  
万人  
2013年

1000  
万人  
2050年

みんなで正しく抗菌薬を使用するには  
どうしたらいいんだろう？



- **むやみに処方求めないで!**  
— 抗菌薬はウイルスに効果ありません
- **人にはあげないで!**  
— 不適切な服用につながります
- **処方分は全て服用しましょう!**  
— 体内に細菌が残る可能性があります
- **指示された通りに服用しましょう!**  
— 細菌が耐性を獲得しやすい環境を生み出します



## 広島県の取り組み

2024年度より広島県において抗菌薬の使用状況調査(サーベイランス)を始めました。国は、耐性化を起こしやすい抗菌薬(限られた病気にのみ使用)の使用率目標を40%以下に定めていますが、現在広島県は70%程度です。



広島県AMR対策連携グループ

協力：広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)  
NPO法人ひろしま感染症ネットワーク

問い合わせ先：広島県感染症・疾病管理センター  
(ひろしまCDC)

